

2025年5月20日

各位

会社名 株式会社 ブイキューブ  
 代表者名 代表取締役社長 間下 直晃  
 (コード番号：3681 東証プライム)  
 問合せ先 取締役 CFO 経営企画本部長 山本 一輝  
 (TEL. 03-6625-5011)

### 業績予想の修正及び営業外費用（為替差損）の計上に関するお知らせ

当社は、2025年2月21日に公表いたしました2025年12月期の連結業績予想について、下記のとおり修正いたします。また、2025年12月期第1四半期連結会計期間（2025年1月1日～2025年3月31日）において営業外費用（為替差損）を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

#### 1. 業績予想の修正

- (1) 2025年12月期中間期の連結業績予想  
 (2025年1月1日～2025年6月30日)

(単位：百万円)

	売上高	調整後 EBITDA	営業利益	経常利益
前回発表予想 (A)	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	5,000	350	△800	△900
増減額 (B-A)	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (2024年12月期中間期)	5,619	824	229	191
	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 中間純利益		
前回発表予想 (A)	—	—		
今回修正予想 (B)	0	0円0銭		
増減額 (B-A)	—			
増減率 (%)	—			
(参考) 前期実績 (2024年12月期中間期)	△212	△8円52銭		

(2) 2025年12月期通期の連結業績予想  
(2025年1月1日～2025年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	調整後 EBITDA	営業利益	経常利益
前回発表予想 (A)	10,800 ～ 12,000	—	—	—
今回修正予想 (B)	10,000	1,050	△700	△900
増減額 (B-A)	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (2024年12月期)	10,463	1,053	△236	△320
	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益		
前回発表予想 (A)	—	—		
今回修正予想 (B)	100	3円93銭		
増減額 (B-A)	—			
増減率 (%)	—			
(参考) 前期実績 (2024年12月期)	△1,417	△55円73銭		

(参考) 前期連結実績と今期連結業績予想との比較

(単位：百万円)

	FY24 上期 実績	FY25 上期 業績予想	FY24 下期 実績	FY25 下期 業績予想	FY24 通期 実績	FY25 通期 業績予想
売上高	5,619	5,000	4,844	5,000	10,463	10,000
調整後 EBITDA	824	350	229	700	1,053	1,050
営業利益	229	△800	△465	100	△236	△700
経常利益	191	△900	△512	0	△320	△900
親会社株主に帰属 する当期純利益	△212	0	△1,204	100	△1,417	100

(3) 修正の理由

2025年2月にTEN Holdings, Inc. (以下「TEN」) がNASDAQに上場した後、各施策の進捗等の影響を合理的に算定するのが困難であった状況から、期初時点では売上のみを開示しておりました。本日開示の「米国子会社の再編に関する方針決定のお知らせ」のとおり、TENを当社グループの連結の範囲から除外する方針を決定したことに伴い、各事業の見通しを踏まえて業績予想を修正いたしました。

上期は、昨年6月末に売却したプロフェッショナルワーク事業(緊急対策領域)の影響等により昨対比で売上が減少する見込みです。営業利益と経常利益は、TENにおいて第1四半期に計上した株式報酬費用の計上等により、大幅な減益となる見込みです。また、同期間に計上した投資有価証券売却益516百万円に加え、一定の前提条件のもとでTEN連結除外に伴う特別利益の計上を見込んでおり、親会社株主に帰属する当期純利益はゼロとなる見通しです。

下期は、TEN を連結の範囲から除外することを前提に営業黒字を計画しております。TEN は持分法適用会社となる予定であり、経常利益には TEN に関連する持分法投資損益を織り込んでいます。その他の要因も含め、親会社株主に帰属する当期純利益は 100 百万円となる見通しです。

## 2. 営業外費用（為替差損）の計上

2025 年 12 月期第 1 四半期連結会計期間において、為替相場の変動により、為替差損を 21,496 千円計上いたしました。これは、主にグループ内の外貨建て資産・負債に対し、為替相場が前期末と比較して円高に推移したことにより発生したものです。

以 上